

起業支援ファンド
「QXLV2号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（起業支援ファンド）において、QXLV2号有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として最大15億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『QXLV2号投資事業有限責任組合』は、「飛躍の30年を共に創る」をミッションに掲げ、日本発グローバルカンパニーとなりうる起業人材の育成、創業資金（リスクマネー）の提供及び海外市場への事業展開を支援することを目的としたファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

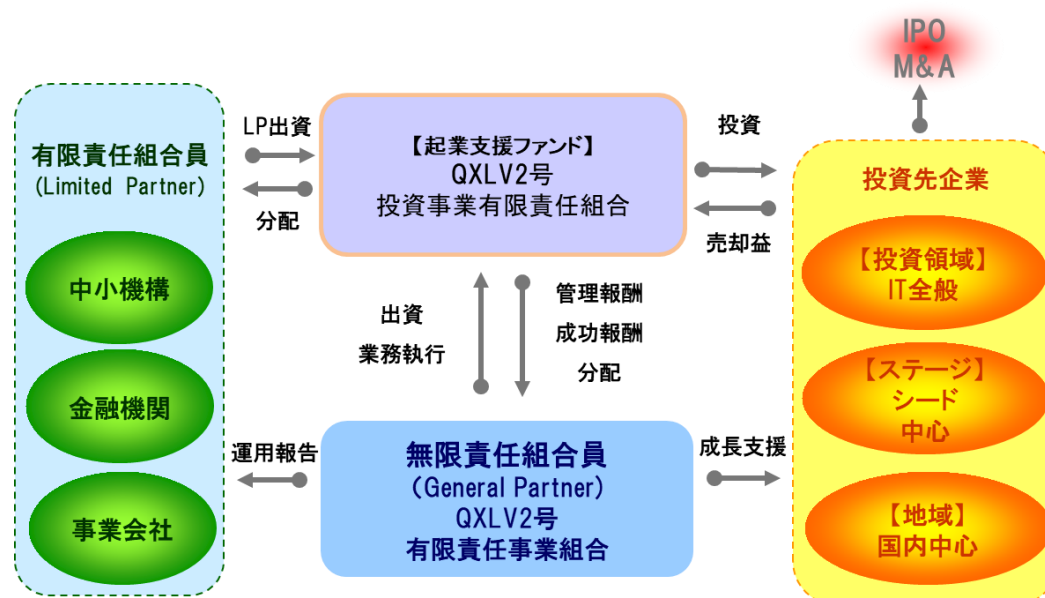
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：工藤、林）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「QXLV2号 投資事業有限責任組合」の概要

- 「QXLV2号投資事業有限責任組合」は、QXLV2号有限責任事業組合を無限責任組合員として設立され、「ゼロイチ×海外展開」をテーマにプレシード・シード期への投資に特化し、日本発グローバルカンパニーとなりうる起業人材の育成と創業資金の提供を行う投資ファンドです。
- 運営事業体であるQXLV2号有限責任事業組合は、代表パートナー古谷 健太郎 氏、中澤 篤氏及び諏訪 博俊氏を中心に構成され、「飛躍の30年を共に創る」というミッション達成のため、IT全般（特に次世代技術、GX、Climate Tech等）を投資領域として、アクセラレーションプログラムによる海外展開支援や、投資先の事業領域に即したエンジニアによる技術開発支援等を積極的に実施し、起業家支援を行います。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド出資実績

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf